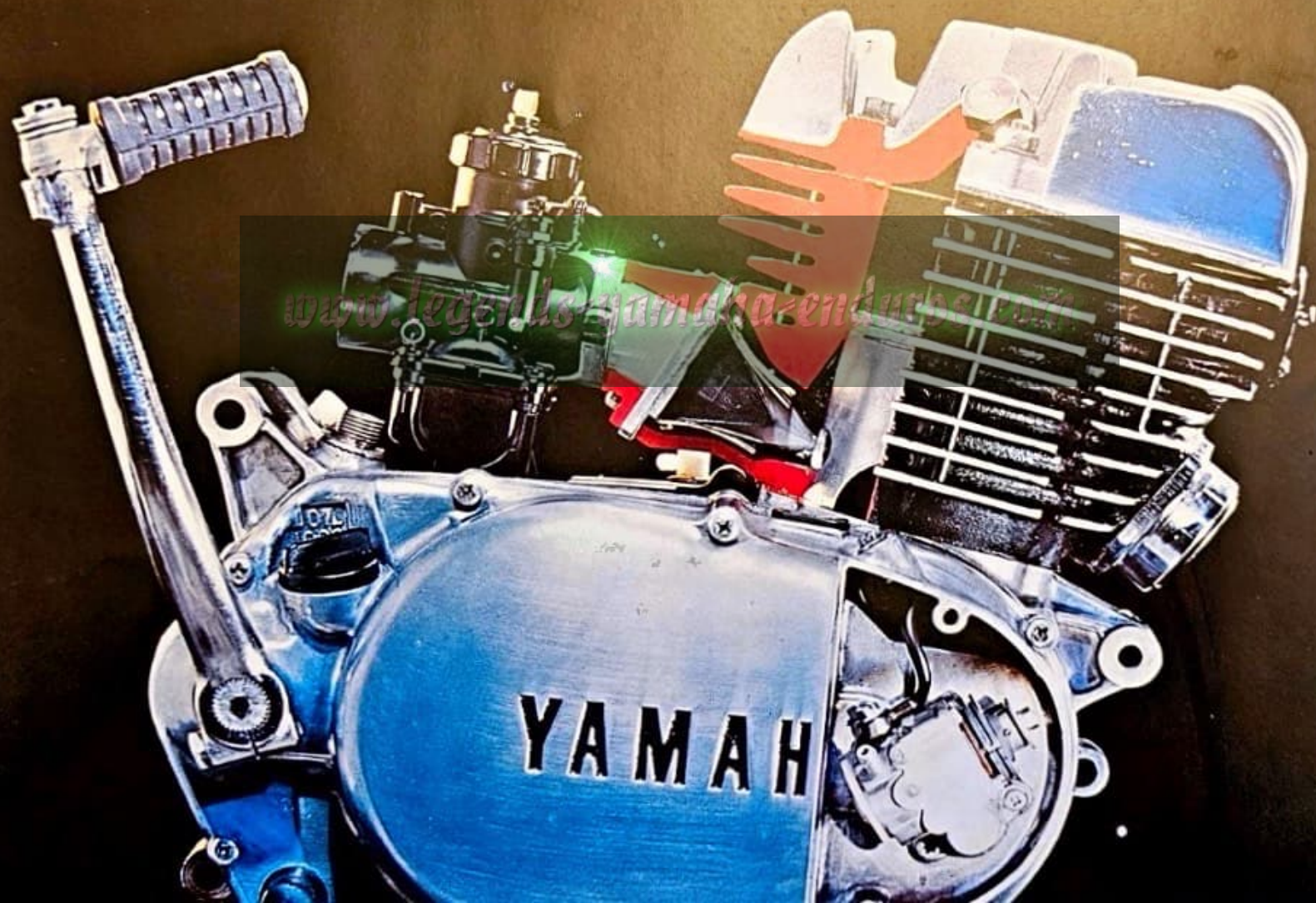


セブン
7ポート+ピストンリードバルブ——これからは「トルクインダクション」とお呼びください。

トルクインダクション



お客様に自信をもって、こうご説明ください。

(エンジンが違います。トル・インです。)



トルクインダクションとは？

いわばバキュームシステム。トルクの新しいエンジンには、普通のエンジン以上に高い出力とトルクを導き出す作用「インダクション」がある。そこでこの作用がつけられまして、偶然に思いついて作出では、もちろんありません。7ポート+ピストンリードバルブ——話題のヤマハメカニズムが、それを可能にしたのです。



7ポート+ピストンリードバルブ

☆7ポートタイミングと選り出したピストンリードバルブ吸入方式も開発。
☆往・復→7ポートタイミング制御。もポート方式を大きく上回る燃費効率。

☆ピストン閉じもリードバルブでキャブへの吸気高しゼロ。アクセルレスポンスは抜群。

☆低速から高速まで安定したエンジン性能。特に低速トルクの太刀アツブ。
☆未知のハイパワーとあり余るスタミナ。ラフロード運行に勝つてもらい、高性能エンジン。



こうしてハイパワーは生まれます



1. 吸気。ピストンが下向きに移動し、新鮮な空気を吸入。7ポートタイミング制御により、吸入空気量を大きく取り込み、燃費効率を向上させる。



2. 圧縮。ピストンが上向きに移動し、空気混合物を圧縮。7ポートタイミング制御により、圧縮効率を向上させる。



3. 着火。火花プラグが着火し、圧縮された空気混合物が燃焼。7ポートタイミング制御により、燃焼効率を向上させる。



4. 膨張。燃焼した空気混合物が膨張し、ピストンを下向きに押し出す。7ポートタイミング制御により、膨張効率を向上させる。



5. 排気。ピストンが上向きに移動し、燃焼した空気混合物を排出。7ポートタイミング制御により、排気効率を向上させる。

2サイクルのゆくてを決めた！

トルクインダクション

《セブン 7ポート+ピストンリードバルブ》

トルクインダクションの
高性能エンジン搭載

ヤマハトレールシリーズ



激しさがカタチになった **¥98,000**

HT90

●車体色—ブリリアンレッド(赤)・キャンディイエロー(黄)
●最大トルク— $2.95\text{kg}\cdot\text{m}/7,000\text{rpm}$ ●最高出力— $10.1\text{ps}/8,000\text{rpm}$ ●空燃比— $14.7:1$ ●変速機—クランク式
常時噛合式前進5段 ●車軸重量— 87kg ●総排気量— 83cc ●制動停止距離— $15\text{m}/50\text{km/h}$



125のイメージを破る本格派 **¥152,000**

AT125

●車体色—マリンブルー(青)・マングリンオレンジ(橙)
●最大トルク— $3.8\text{kg}\cdot\text{m}/6,000\text{rpm}$ ●最高出力— $13.5\text{ps}/7,000\text{rpm}$ ●空燃比— $14.7:1$ ●変速機—クランク式
常時噛合式前進5段 ●車軸重量— 84kg ●総排気量— 123cc ●制動停止距離— $15\text{m}/50\text{km/h}$



オフロードの時代先どりマシン **¥208,000**

DT250

●車体色—ホットレッド(赤)・パールイエローゴールド(黄)
●最大トルク— $2.45\text{kg}\cdot\text{m}/6,000\text{rpm}$ ●最高出力— $23\text{ps}/7,000\text{rpm}$ ●空燃比— $14.7:1$ ●変速機—クランク式
常時噛合式前進5段 ●車軸重量— 119kg ●総排気量— 246cc ●制動停止距離— $15\text{m}/50\text{km/h}$



ビック&ブラック 黒い風の大迫力 **¥226,000**

RT360

●車体色—メタリックブラック(黒)
●最大トルク— $3.53\text{kg}\cdot\text{m}/5,500\text{rpm}$ ●最高出力— $30\text{ps}/6,000\text{rpm}$ ●空燃比— $14.7:1$ ●変速機—クランク式
常時噛合式前進5段 ●車軸重量— 113kg ●総排気量— 351cc ●制動停止距離— $15\text{m}/50\text{km/h}$